

2008年度受託研究概要報告

神戸市広報印刷物のデザイン性向上についての研究

研究メンバー

かわいひろゆき デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
 荒木優子 デザイン学部ビジュアルデザイン学科准教授

委託者

神戸市

1 あらまし

神戸市が進める「デザイン都市・神戸」構想の一環として、2008年4月17日に本学と神戸市の間に「くデザイン都市・神戸」推進のための連携協力に関する協定書」が締結された。

本研究はそれに基づいて受託されたもので、市が2008年度後期に制作する広報印刷物のデザイン性向上を目的に、本学ビジュアルデザイン学科の学生たちとともに、ポスターのデザイン開発に取り組んだ。

2 業務内容

神戸市デザイン都市推進室が市役所内各局からの案件をまとめる作業を行い、そのリストの中から、学生の許容量を考慮して5件が後期の官学連携案件として選ばれた。ビジュアルデザイン学科で参加を希望する学生を集めた説明会が開かれ、連携の主旨と案件の内容説明を行い参加学生を募った。

案件は以下の5つであり、それぞれ参加学生の人数を記しておく（案件により人数にばらつきがでたが、学生の主体性を尊重するため、あえて調整はしなかった）。

1. 私たちがつくる将来の神戸「提言募集」 5名
2. 野菜をとろう 18名
3. すまいの耐震診断 7名
4. 少しの工夫でゴミは減らせる 11名
5. くらしと消費（パンフレット） 3名

まず、市役所の担当者からオリエンテーションがあり、何度かの学内打合せ（先方を交えて行われる場合もある）を経て、こちらからのオリエンテーションが開かれる。提出した案は担当局内で検討され、1案に絞り込まれる。以後、修正とブラッシュアップを重ねて完成度を高め、最終データが印刷入稿される。その後、色校正がチェックされ納品となる。

各案件は、おおむね上記のように進められ、一定の成果を収めることができた。

3 まとめ

後期においても、市の担当者との連携は非常にスムーズに行われ、各案件とも、先方が望む以上の質のデザインとなった。また、担当者とのコミュニケーションもうまくとれ、互いに信頼関係が構築できた。



写真2 「野菜をとろう」ポスターと制作者

このことは、感性を扱うデザインという分野の社会連携においては非常に重要なことであり、学生にとっても貴重な体験となった。

特に、1.私たちがつくる将来の神戸「提言募集」ポスターは好評で、2009年1月26日（月）に市役所の記者クラブにて記者発表が行われ、担当学生が記者たちの質問に対してデザイン・コンセプトを語った。

2.野菜をとろうのポスターも、2009年6月20日(土)

に神戸駅地下街のデュオドームで行われた「食育フェア」にて、官学連携の取り組みとして紹介された。

3.すまいの耐震診断は、すべての案が神戸市役所地下通路ギャラリーにて展示され、活動が告知された。

以上のように、ポスター制作後もさまざまな展開ができ、2次的な成果をあげることに繋がった。



写真1 「くらしと消費」



写真3 「提言募集」ポスターと制作者



写真4 「すまいの耐震診断」ポスター展示風景